

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会… 3月31日 期末配当……… 3月31日 中間配当……… 9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] http://www.seiko-co.com/
単元株式数	100株

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

■ 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。



証券コード：6286

第115期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

あなたのそばに 静岡グループ

毎日の暮らしからものづくりの現場まで、あなたとつながる静岡です



INDEX

静岡グループの事業領域……………	02	連結財務諸表……………	07
ごあいさつ……………	03	トピックス……………	09
財務ハイライト……………	04	会社概要／株式の状況……………	10
事業別の概況……………	05		

産業機械事業

包装機械等の製造販売、修理・改造



電機機器事業

FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事



不動産等賃貸事業

駐車場経営及び貸自動車事業等

冷間鍛造事業

冷間鍛造製品の製造販売



車両関係事業

車両及びその関連商品の販売



グループ会社

- 日本機械商事株式会社（連結子会社）
包装機械の販売
- 株式会社エコノス・ジャパン（連結子会社）
殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
- 静岡バイオート株式会社（連結子会社）
ボルボ車の販売・修理
- 静岡スバル自動車株式会社（連結子会社）
スバル車及びボルシェ車の販売・修理
- 静岡自動車株式会社（連結子会社）
車両レンタル・リース業、ガレージ業
- 株式会社ビルメンテ
- エススタッフサービス株式会社

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。
さて、当社第115期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調が続いている一方で、海外経済は中国などの新興国の景気減速や英国のEU離脱への動向、米国新政権の政策の不確実性を背景として、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。各事業の業績につきましては、売上高は、車両関係事業では新型車の販売が堅調に推移し、電機機器事業では大型の空調設備工事案件が増加したことを主要因として、それぞれ前期の実績を上回りました。一方、産業機械事業は大型機の売上減少により、前期の実績をやや下回り、冷間鍛造事業は納入先の海外生産移転の影響を受け、前期の実績を下回りました。これらの結果、当社グループの売上高は、前期比6.0%増の290億2千6百万円となりました。利益面では、増収に加え、産業機械事業における生産効率向上により、経常利益は前期比116.4%増の6億8千9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比55.4%増の4億1千万円となりました。当期の期末配当金につきましては、1株につき8円として、先に実施いたしました中間配当金と合計した年間の支払配当金は1株につき16円とさせていただきます。

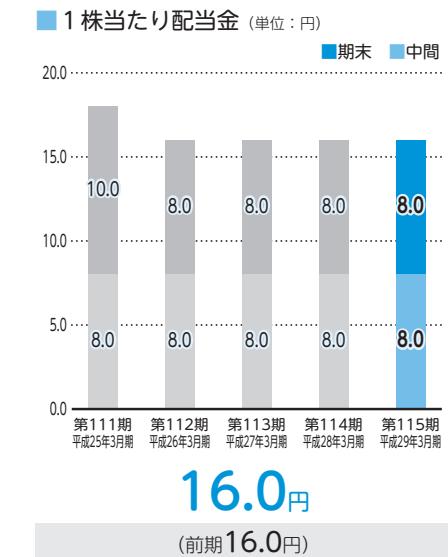
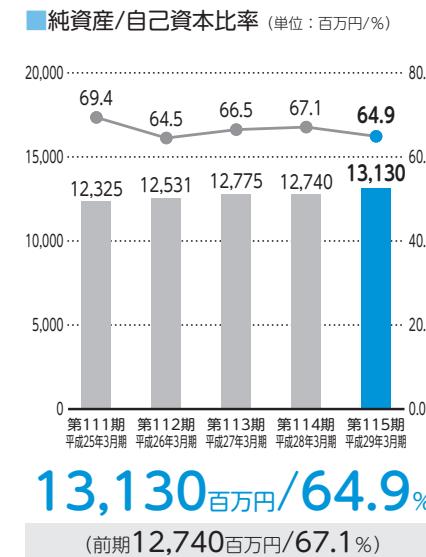
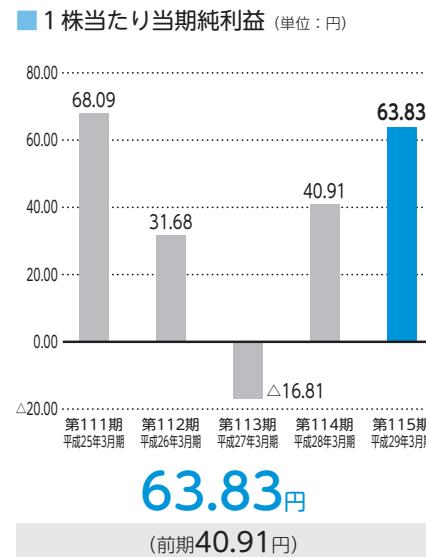
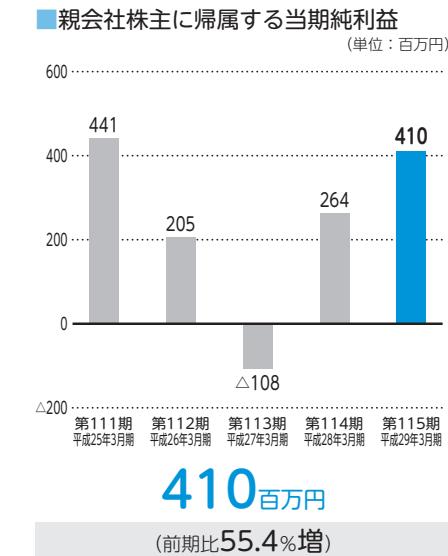
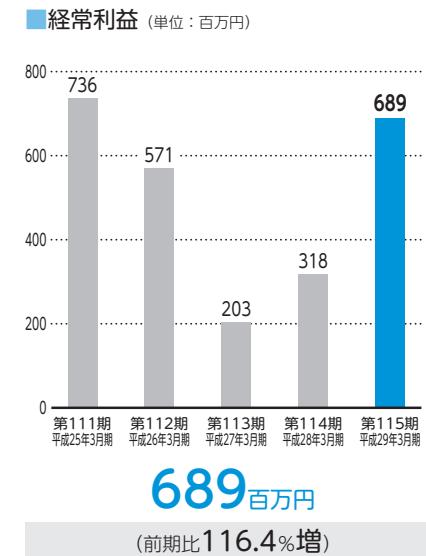
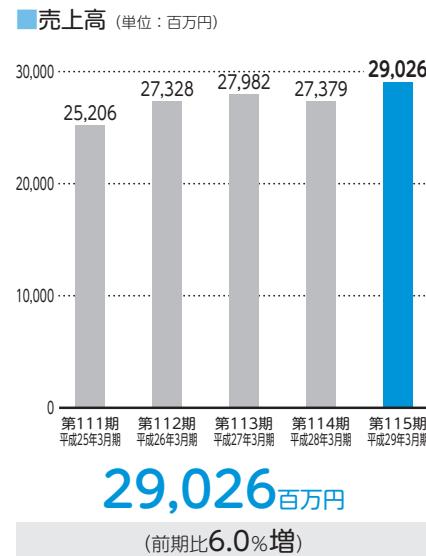
来期の見通しについて

当社グループにおきましては、産業機械事業では食品業界などを中心として需要が増加傾向にあり、また、車両関係事業では当連結会計年度に投入された新型車の販売が順調に推移することが見込まれ、両事業ともに堅調に推移する見込みです。また、冷間鍛造事業は、引続き納入先の海外生産移転の影響を受けますが、新規製品の量産開始により当連結会計年度より回復する見込みです。一方で、電機機器事業では、主力のF A関連機器は自動車関連の設備投資が好調に推移する見込みですが、空調機器などでは当期のような大型案件が見込めず、当連結会計年度を下回る見込みです。以上によりまして、平成30年3月期における当社グループの売上高は310億円、営業利益は6億円、経常利益は6億9千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4億2千万円となる見通しであります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

取締役社長 鈴木恵子



産業機械事業

売上高
4,290百万円
(前期比5.5%減)

営業利益
422百万円
(前期比21.2%増)

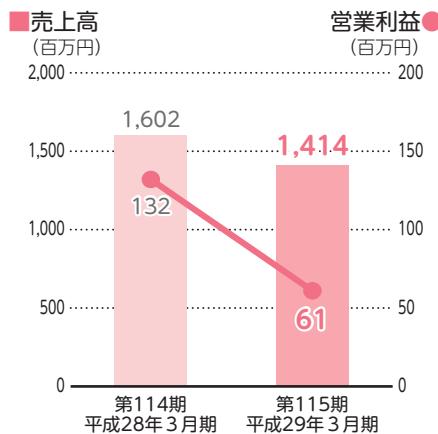


概況
小型・中型機及び改造工事の売上は堅調に推移いたしました。また、食品やトイレタリー業界をはじめとして、設備投資への意欲が増しており、期後半にかけて受注が好調に推移いたしました。しかしながら、期前半の大型機の落ち込みをカバーするには至りませんでした。一方、利益面では、機械の標準化及びITの活用による生産効率改善や受注増加により、工場の操業度が高まり利益率が改善しました。

冷間鍛造事業

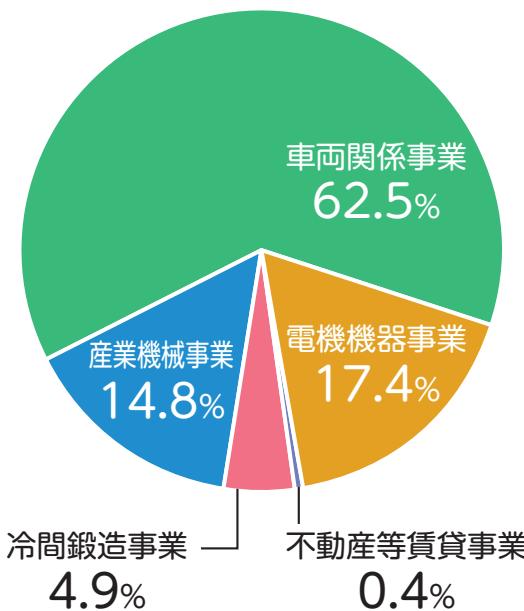
売上高
1,414百万円
(前期比11.8%減)

営業利益
61百万円
(前期比53.8%減)



概況
主力の電動工具部品は前期並みで推移いたしました。一方で、自動車部品は新規製品の売上があったものの、納入先の海外生産移転による一部製品の売上減少の影響が大きく、前期の実績を下回り、事務機・産業機械部品も前期の実績を下回りました。

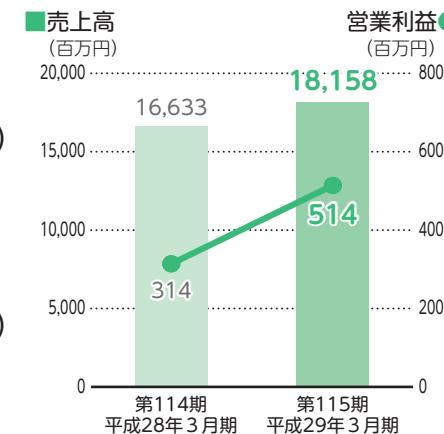
売上高合計
29,026百万円



車両関係事業

売上高
18,158百万円
(前期比9.2%増)

営業利益
514百万円
(前期比63.5%増)

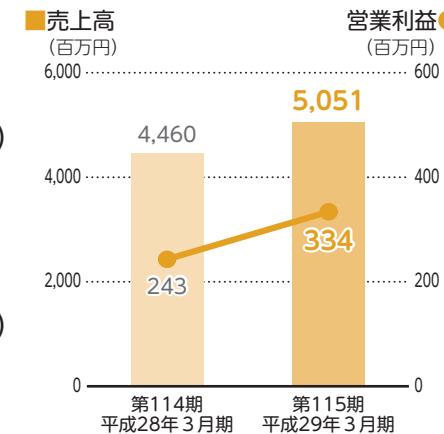


概況
新車販売は、新店舗オープンや継続的な広告宣伝の効果に加え、昨年10月に発売された新型インプレッサの販売が堅調に推移したことにより、登録車の販売台数が増加し、前期の実績を上回りました。サービス部門も前期の実績を上回り、中古車販売及び輸入車販売も堅調に推移いたしました。

電機機器事業

売上高
5,051百万円
(前期比13.3%増)

営業利益
334百万円
(前期比37.4%増)



概況
主力のFA関連機器は、自動車関連を中心として需要に持ち直しの兆しが見られたものの、システム案件の売上が伸び悩んだことにより、前期の実績を下回りました。一方、空調機器は大型の工事案件が売上を押し上げ、冷熱機器も積極的な営業活動により小口案件が増加したため、前期の実績を上回りました。設備機器は前期並みの実績となりました。

不動産等賃貸事業

売上高
111百万円
(前期比21.7%減)

営業利益
13百万円
(前期比242.9%増)

連結貸借対照表

	当 期 平成29年3月31日現在	前 期 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,472,412	8,387,096
現金及び預金	3,347,361	3,061,521
受取手形及び売掛金	3,558,532	3,110,904
たな卸資産	1,966,054	1,602,335
その他	612,968	614,491
貸倒引当金	△ 12,503	△ 2,156
固定資産	10,748,676	10,607,641
有形固定資産	7,717,044	7,639,662
建物及び構築物	3,000,499	2,682,632
土地	3,346,094	3,235,396
その他	1,370,449	1,721,633
無形固定資産	162,366	213,270
投資その他の資産	2,869,265	2,754,708
投資有価証券	2,502,187	2,378,084
その他	367,335	376,623
貸倒引当金	△ 256	—
資産合計	20,221,088	18,994,738

(単位：千円)

	当 期 平成29年3月31日現在	前 期 平成28年3月31日現在
負債の部		
流動負債	5,117,608	4,542,715
支払手形及び買掛金	2,496,210	2,409,683
その他	2,621,397	2,133,032
固定負債	1,972,681	1,711,554
負債合計	7,090,289	6,254,270
純資産の部		
株主資本	12,004,383	11,696,739
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,070,576	3,070,576
利益剰余金	8,862,430	8,554,781
自己株式	△ 28,623	△ 28,617
その他の包括利益累計額	1,126,415	1,043,728
その他有価証券評価差額金	1,126,415	1,043,728
純資産合計	13,130,798	12,740,468
負債及び純資産合計	20,221,088	18,994,738

連結損益計算書

	当 期 平成28年4月 1日～ 平成29年3月31日	前 期 平成27年4月 1日～ 平成28年3月31日
売上高	29,026,606	27,379,328
売上原価	23,484,142	22,262,233
販売費及び一般管理費	4,942,835	4,873,765
営業利益	599,629	243,329
営業外収益	137,667	124,261
営業外費用	48,284	49,264
経常利益	689,012	318,326
特別利益	4,095	76,034
特別損失	100,320	7,683
税金等調整前当期純利益	592,787	386,677
法人税、住民税及び事業税	208,659	109,162
法人税等調整額	△ 26,414	13,297
当期純利益	410,542	264,216
親会社株主に帰属する当期純利益	410,542	264,216

(単位：千円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期 平成28年4月 1日～ 平成29年3月31日	前 期 平成27年4月 1日～ 平成28年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,594,269	1,647,168
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,392,984	△ 1,164,700
財務活動による キャッシュ・フロー	59,332	251,431
現金及び現金同等物の 増減額	260,617	733,898
現金及び現金同等物の 期首残高	2,997,351	2,263,453
現金及び現金同等物の 期末残高	3,257,969	2,997,351

(単位：千円)

◎ホームページのご案内◎

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

<http://www.seiko-co.com/>

トップページ



IR情報



充填キャッパー ラインナップ充実

産業機械事業で市場ニーズに対応するため、能力45～100本/分での生産に最適なモノブロック式充填キャッパーを商品化しました。本機は平成29年10月に東京ビッグサイトで開催される「JAPAN PACK 2017 (2017 東京国際包装機械展)」に展示します。



会期：平成29年10月3日(火)～6日(金)4日間
会場：東京ビッグサイト (東京国際展示場) 東展示ホール
小間：東展示棟4ホール 4D-03

新型「SUBARU XV」発売開始

平成29年5月24日に新型「SUBARU XV」が発売となりました。

「Fun Adventure」をコンセプトに、都会的で洗練されたデザインとSUBARUらしいSUVとしての走破性、そして世界トップクラスの安全性能を兼ね備えたクロスオーバーSUVです。

SUBARU XVは、連結子会社である静岡スバル自動車株式会社の取扱商品です。



日本機械商事株式会社 連結子会社化

当社は平成29年5月31日付で日本機械商事株式会社(本社：大阪府)を連結子会社化しました。グループ内での一層の連携を図るとともに、西日本エリアにおける包装機械の販売体制強化に取り組めます。

【参考】日本機械商事株式会社の概要

会社名：日本機械商事株式会社 所在地：大阪府大阪市中央区備後町三丁目3番9号コイズミビル
資本金：50百万円 売上高：22億2千万円(平成29年3月期)

会社概要

(平成29年3月31日現在)

社名	静甲株式会社 (SEIKO CORPORATION)
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
設立	昭和14年5月18日
資本金	1億円
従業員数	349名

役員

(平成29年6月28日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
取締役	大石 透
取締役	鈴木 康之
取締役	鈴木 孝明
取締役	鈴木 浩之
取締役	伏見 民生
社外取締役	山田 博久
取締役	石田 進一
常勤監査役	中村 元保
社外監査役	小林 和仁
社外監査役	戸塚 伸久
社外監査役	大津 善敬

株式の状況

(平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数	6,430,794株 (自己株式52,529株を除く)
株主数	714名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260	28.49
鈴木恵子	645,870	10.04
有限会社ティエムケイ	617,600	9.60
鈴木美代	340,500	5.29
株式会社静岡銀行	311,500	4.84
株式会社清水銀行	309,290	4.81
清水食品株式会社	204,000	3.17
中村昭雄	161,400	2.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	135,100	2.10
静甲従業員持株会	130,700	2.03